



発行／〒889-2401 日南市北郷町大藤甲3186番地1 / TEL0987(55)3738 FAX0987(55)3739
社会福祉法人 愛泉会 特別養護老人ホーム 河鹿の里



五月九日に「お父さんお母さん感謝の集い&五戸文化祭」を開催しました。

オープニングでは、音楽クラブでの白頭の練習の成果を披露され、他踊りや寸劇を見ながら御家族、利用者の皆様楽しいひとときを過ごしていらっしゃいました。今後も皆様に有意義な時間を過ぎて頂ける様にスタッフ一同取り組んで参りたいと思います。

感謝の集い



現在、河鹿の里には、五つのクラブ活動があります。手芸クラブ、音楽クラブ、書道クラブ、絵画クラブ、三味線教室の五つで構成されており、外部より、専任の講師を招いて、一月、各二回、三回の活動を行っています。今年一年、四回にわたり、各クラブ活動の様子を紹介していきたいと思います。

手芸クラブについて

講師 那須 喜美

材料は、和紙を使った作品です。一枚一枚、手でずかれて染められ、柔らかな質感が特徴です。また非常に丈夫で、自由自在に作品に合わせられる事も魅力です。表現の幅も広がります。花や鳥や風景といった一枚の作品となります。

第一回目のクラブ活動紹介は、手芸クラブです。担当していただいているのは那須喜美先生です。先生からのお言葉をいただきましたので、紹介させていただきます。

手芸クラブ活動紹介は、手芸クラブです。担当していただいているのは那須喜美先生です。先生からのお言葉をいただきましたので、紹介させていただきます。

手芸クラブ活動紹介は、手芸クラブです。担当していただいているのは那須喜美先生です。先生からのお言葉をいただきましたので、紹介させていただきます。

河鹿の里 クラブ活動紹介

作品は大きいもので、ベニア一枚のものから、小さいものはマメ色紙のものまで作る事も可能です。

入所者が作品作りに取り組まれる時のまなざしには関心

させられます。作品が出来上がった時には、涙ぐまる方がいらっしゃいます。作品はすべて園内に展示されていますので、是非見て感想を話して下さると幸いです。



クラブ活動の様子

《クラブ活動に参加されている入所者の声》

「手芸クラブに参加して、みんなと作品作りに励んでいきたい。」

最初の頃は、細かな作業をするのに、手が敵わなく億劫に感じていたが、何回も参加していくうちに、細かい作業も出来るようになり樂しくなりました。一つの作品が出来上がる喜びも知ることで、楽しく感じる事が二倍、三倍となつた。これからも手芸クラ



《園に展示されている作品紹介》



今回、手芸クラブを担当していただいている那須先生と話をしていただきました。那須先生は、手芸クラブを担当されて、長い月日が過つたと言われ、始めた当初の事を振り返えられ思い出されたようでは遠い目をされ、ふと優しい顔になられました。色々な事が走馬灯のように頭の中を、巡られたようです。園に飾られた作品一つ一つにも、たくさんの思い出を持たれているようでした。活動を行う入所者の方々の顔は真剣そのもので、出来上がった時のうれしそうな表情も見ると、こちらも自然と笑みがこぼれました。



年に一度の七夕がきまし
た。
七夕は織姫と彦星が年に一度だけ会える特別な日。笹飾りの竹には「まっすぐ育つ」ことから、邪気を払ってくれる意味があるそうです。居室入口に立てられた七夕飾りが華やかでした。

恒例の七夕ホーム喫茶では職員による七夕についての由来話を聞きながら、様々なメニュー（シュークリーム・コーヒー・ゼリー・レモンティー等）の中から好みの物を選んで頂きました。みんなとてもおいしそうに召し上がりおられ、幸せな時間を過ごされていました。



各居室に飾られた笹には、利用者の皆様が願い事を込められた色とりどりの短冊や七夕飾りが施設内を色どつていました。



皆様の願い事がどうか叶いますように……。

「元氣でいてね」



妻より

石原 元市 様

「いつまでも元氣でね」
息子夫婦より



長友 マツノ 様

面会の
一コマ



「いつまでも元氣で」
娘夫婦より



福田 百合子 様

「元氣で長生きして下さい」
息子嫁より



斎藤 サチ 様

(スタッフ一同)

いつも面会ありがとうございます。御家族の皆様や御友人の皆様とお顔を合わせられた時の利用者の皆様方の表情は、良い意味で普段とはまた違った表情を見せて下さいます。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

現在、全国で、四千五十六ヶ所が設置され、ここ河鹿の里でも、平成十八年から旧北郷町（現在、日南市）の委託を受け設置し、業務にあたっています。その中でも認知症に関する相談が増加している現状です。

ここにちは、日南市北郷地区地域包括支援センターです。地域包括支援センターとは、高齢者が、住みなれた地域で、いつまでも自分らしく暮らすために、主任ケアマネージャー、社会福祉士、保健師等の専門職種が、互いに連携を図りながら「一つのチーム」として総合的に高齢者を支える機関です。

地域包括支援センター



認知症は、六十五歳以上で、約十五人に一人が患うとされています。現在の医療において完治する方法は、見つかっていませんが、予防の出来る病気です。

最後に、これからも高齢者の方々が、住みなれた地域で暮らして行ける様サポートして行きたいと思いますのでご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



七夕さま

今回で三回目の七夕飾りです。最初は広いホールに行事の雰囲気もとの思いで作成しました。

今回は、「華やかに」とのテーマで創らせて頂きました。利用者の皆様より、「きれいやなあ」との感嘆の声をいただいて、又、来年も頑張ろうと思っています。



ライブを堪能

ボランティア活動で始めた荒木務様のライブが今年で五周年を迎えました。

ギター演奏と心を動かす歌声がホールいっぱいに広がりました。年齢を越えてつながる音楽の輪で和み、会場が一体となつての歌声はとつても味わい深い人と人との交わりが感じられます。



交通安全教室

六月に日南市交通安全協会より協力を頂き、ゲーム感覚での交通ルールや、時代劇風のビデオ視聴にて、デイサービスの利用者も楽しく交通ルールを学ぶ事が出来ました。



食中毒って何？



食中毒は、食べ物に付いた有害な菌が増えそれを食べた事で嘔吐、腹痛、下痢などの症状をおこす事です。

予防法は、

- ① 食品に菌をつけない。
- ② 菌に増える時間を与えない。
- ③ 菌をやつづける。

が基本なのです。

特に肉、魚、卵の取扱いには十分気をつけて下さい。

が基本なのです。

施設においては、衛生管理マニュアルに添った調理作業を徹底し安全な食事の提供を最優先に全員で取組んでいます。

編集後記

四月以降、口蹄疫の関係で予定されていた行事も中止や延期になりましたが、園内では利用者の皆様に楽しんで頂ける様な活動を行ってきました。又、口蹄疫で被害を受けられた畜産農家の方々の事を思うと心が痛みます。二度とこの様な事がない様祈ります。